

共同助成(千葉県遊技業協同組合)

「もっと身近な科学コミュニケーター育成」事業

科学コミュニケーションを活性化させる 科学コミュニケーターの養成講座を実施

東京大学や千葉大学をはじめ、様々な研究機関が立地する千葉県柏市。ここで空きアパートを自分たちで改修して作った手作り科学館 Exedra を拠点に、科学コミュニケーション活動を実践している団体がある。地域における科学コミュニケーションの場とも言えるその科学館で、科学コミュニケーター養成実践講座が開催された。



子どもから大人を対象とした天文講座「アストロトーク」のチラシ



「手作り科学館 Exedra」で開催した小学生向けの理科実験教室

手作り科学館 Exedra を舞台に 科学の啓蒙・普及活動に取り組む

「柏の葉サイエンスエデュケーションラボ (KSEL)」は科学コミュニケーション活動を通じた地域交流の活性化を目指し、千葉県柏市の柏の葉地域を中心に活動する市民公益活動団体である。2010年6月に東京大学柏キャンパスの大学院生が中心となって設立された。現在は高校生や大学生、地元住民も加わり、小学生向けの理科実験教室や大人向けのサイエンスカフェなど、科学の啓蒙・普及を目的にイベントを開催するなどの活動を行っている。2018年1月から、空きアパートを自分たちの手で改修した「手作り科学館 Exedra」を毎週末に開催し、来館者との交流を深めている。

同団体では8年に及ぶ活動を通じて市民をはじめとする多くの方々と交流を持ったが、そうした交流を通して街

には潜在的な科学コミュニケーターとなり得る人材が多数いることを実感した。一方、現在活動の中心となっている大学院生たちは今後、大学院修了とともに巣立っていく。そこで、これまで作り上げてきた科学コミュニケーションの場である Exedra を今後も継続的に運営し、かつ質の高い多彩なイベントを開催して多数の参加者を得、科学コミュニケーションを活性化させられるよう、市民を対象にした科学コミュニケーター養成実践講座を開講した。

講座を通じて同団体の持つ各種のノウハウを言語化・資料化したのが、これは今後、新たな人材を育成するうえで非常に大きな財産になったという。また、今回は社会人の受講生が多かったが、若い学生を育成するには内容のカスタマイズと多数の発表練習、専門分野を異にする研究者の実践を見学し、視野を広げるための機会が必要であるとの認識も得た。

科学コミュニケーター養成実践講座と 修了後開催の「サイエンスサタデー」

6回にわたって開講された科学コミュニケーター養成実践講座では毎回、講義とグループワークを行い、知見の蓄積と実践を並行して実施したが、各回のテーマと参加者は以下の通りであった。科学コミュニケーション活動に必要なコト(6名)、対象と文脈の中に活動を位置づける(7名)、イベントの作り方/企画・運営(5名)、マスを対象としたコミュニケーション(5名)、イベントの作り方/予算計画(10名)、科学「コミュニケーション」の心得(8名)。

修了に際して、街全体で同時多発的に科学イベントを行う「サイエンスサタデー」という企画を受講生が主体となって開催した。全4講座+2企画が行われ、延べ157名の参加者があった。併せて受講生は1年間にわたって Exedra で来館者との科学コミュニケーション活動に従事することで、その技能向上を図った。

今回の事業については日本博物館協会から招待があり、全国博物館大会で事例紹介をする機会があった。講演

後には多数の質問をいただいたうえ、学会誌『博物館研究』にも記事として掲載されたほか、サイエンスサタデーの参加者や協力施設からも好意的な反響が寄せられたという。

受講生は全員、養成講座修了後も継続して科学コミュニケーション活動に参画しているということで、「今後、彼らの活躍により、様々な場所で多様な科学コミュニケーション活動が花開くのを見るのが楽しみ」と、同団体では話す。今回参加できなかった人からの問い合わせもあるため、今後も形を変えて取り組みを続け、多くの科学コミュニケーターを輩出していきたくないと抱負を語ってくれた。

千葉県遊技業協同組合より

柏市の柏の葉周辺は大学の研究拠点が集まっている地域で、近年は数多くのマンションが建ち子育て世帯も増えているため、科学を通じた地域交流は、大変有意義な活動だと思われ助成しました。今後も活動の継続と広がりを見守りたいと思います。



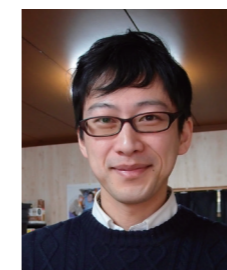
人気イベント大人向けのサイエンスカフェは養成実践講座の受講生が企画



大学院生を中心に、地元の人たちが協力し合ってボランティアで活動

助成団体: 柏の葉サイエンスエデュケーションラボ (KSEL)

<http://udcx.k.u-tokyo.ac.jp/KSEL/>



今後はより多くの方に価値を届けて走る期間に入ります

2年間にわたり、当会の活動をご支援いただき、誠にありがとうございました。おかげさまで空きアパートをDIYで改修した手作り科学館 Exedra を開館し、そこで活躍する科学コミュニケーターを育成することができました。貴機構によりインキュベートしていただいた場で、人材が活躍できる環境の整備に引き続き尽力してまいります。

柏の葉サイエンスエデュケーションラボ (KSEL)
会長 羽村 太雅さん